

女子ビーチバレー部 3年連続8度目の日本一に輝く！

8月9日から11日にかけての3日間、大学日本一を決める「アクティオ杯 ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2022 / 第34回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会」が神奈川県川崎市のマリエンビーチバレー場にて行われました。全国の大学から24チームが出場し、そのうち産業能率大学女子ビーチバレー部から2チームが出場しました。

その結果、3年生ペアの伊藤桜さん、野口彩陽さん(共に情報マネジメント学部)が優勝、2年生ペアの関根優穂さん、田中凜さん(共に情報マネジメント学部)は9位タイと好成績を収めました。

連日の猛暑が続いたなかで、激闘の末ついに「大学日本一3連覇(2022年・2021年・2020年)」をつかみしました。

おめでとうございます。

野口さん：優勝までのペアとの練習の積み重ねは、決して平たんなものではありませんでしたが、先輩達が残してくれたものを受け継ぐことができ、今はほっとしています。これから続くジャパンツアーにも自信をもって挑みます。

伊藤さん：優勝は嬉しいですが、プロの方と比べたらまだまだやるべきことが沢山あります。今回の優勝を弾みに、視野を広げて色々なことにチャレンジしていこうと思います。



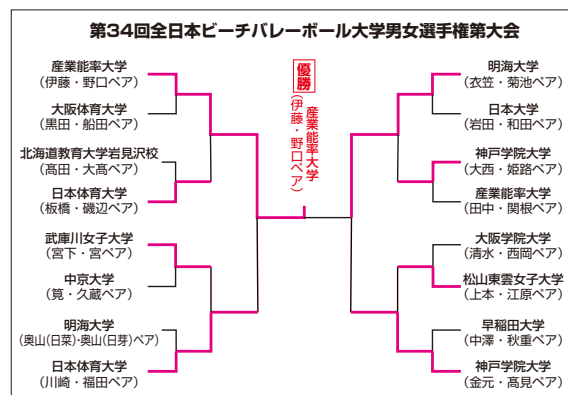
日本一に輝いた伊藤さん(左)と野口さん(右)



川合コーチと共に部員全員で優勝を祝う



日々練習を重ねたビーチバレーコート



女子決勝トーナメント表

サッカー部 関東大学2部リーグにて奮闘！

昨季、関東大学2部リーグにおいて9位であった産業能率大学サッカー部は、今季、小湊監督体制4年目で創部初の1部リーグ昇格を目指して、12大学によるリーグ戦をスタートさせました。

4月からの前期では、初戦から第2戦まで勝利の女神に見放されていましたが、第3戦目の立正大学戦で初勝利を挙げると、日本体育大学、東海大学、中央大学、明治学院大学等の強豪校を次々と撃破し、前期終了時点では、6勝2分3負の成績をおさめ、見事に首位に立ちました。

8月から再開された後期においても、東京学芸大学、明治学院大学等に勝利する等、好調さを維持して、11月6日(日)現在、5位という位置をキープしています(2部の上位2校が1部に昇格し、3位は1部10位チームと参入プレーオフを行う)。

悲願の上位進出を目指して、日々奮闘し続ける産業能率大学サッカー部。

これからの活躍にご期待ください。引き続き、保護者の皆さまのご声援をよろしくお願いいたします。

順位	チーム名	勝点	試合数	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差
1	中央大学	41	21	12	5	4	39	17	22
2	日本大学	41	21	12	5	4	37	23	14
3	東海大学	38	21	11	5	5	38	19	19
4	立正大学	35	21	11	2	8	35	21	14
5	産業能率大学	34	21	10	4	7	28	22	6
6	日本体育大学	34	21	10	4	7	36	36	0
7	関東学院大学	29	21	8	5	8	34	35	-1
8	慶應義塾大学	28	21	7	7	7	25	24	1
9	青山学院大学	28	21	8	4	9	15	30	-15
10	城西大学	18	21	4	6	11	34	37	-3
11	明治学院大学	15	21	4	3	14	12	34	-22
12	東京学芸大学	12	21	4	0	17	13	48	-35

2022年11月6日現在



華麗なボールタッチでピッチに舞う！



切れ味鋭いドリブルで相手を翻弄！



ディフェンスを置き去りにするスピード！



歓喜の決勝ゴール！